

1. 事業のテーマ

クラウド技術を活用した営業力向上ツール

2. 開発の目的とターゲット

組合員企業の業務効率化と販売戦略ツールとして売上拡大

3. システム開発にかかわる前提条件

(1) 従来の事務系が使用する形式ではなく視覚化され操作性がよく、使いやすいツールであること。概ね、一般のコンシューマが普段から使い慣れている、説明書をみなくても操作できるスマートフォンアプリのUIに準ずるものとする。

- 画面の操作

切替は、フリック。選択はタップ。拡大縮小はダブルタップまたは、マルチタッチ。

- メニューの選択

OSによって多少異なるが、標準にある「バック」「ホーム」「メニュー」キーを利用して、直感的にメニューを切り替える。

- 機能選択

ボタンのアイコンの視覚化、見ただけで機能が分かるようにする。

- 処理手順

ゲーム感覚のように処理する順番に画面を切り替えて、ユーザーが意識しないで設定できるようにする

- 大阪・名古屋・東京でも告知・操作説明・サポート対応可能であること

- クライアントの意向があれば必要に応じてスペックに応じた端末の提案ができること

(2) B to Bのコミュニケーションソフトであること

クラウド運用とするが、内部では専門家の都用や開発・維持に多額の費用が発生するため、外部サーバーを活用する。

ハードの設備投資は不要だが、データを外部で管理する。

サーバーを外部委託し毎月の管理・サポートを依頼する。

システム稼働後に想定されるランニングコスト（毎月の利用料）を見積書に記載すること

他サポートを含め別途保守契約についても契約書内容と費用を記載すること

1) サーバーのスペックはデータ量、アカウント、PVに応じて変動できること

2) 当初 20 社試験スタート、1 年後は 100 社以上予定であること。1 社の割り当てについては、40GB相当とする

3) 動作環境は PC またはタブレット、スマホのブラウザで動作すること

一時開発については下記の内容で検討。今後必要性が出た場合は追加検討すること。

動作対象（IE10.0 以上、FireFox 最新、Chrome 最新、Safari 最新）

4) 構築したシステムに対して、システム業者は「1 年間の瑕疵担保責任を負う」。

(3) 試験開始時期は 2016 年 1 月中旬、本件運用開始時期は 2016 年 3 月からとする

1) 運営からのお知らせ、メンテナンス情報、不具合情報など、定期的または緊急のメールを各企業の管理者宛てには下記のような形で連絡することが可能であること。

*アプリの info ページにアップデート情報やメンテナンス情報の表示

*ヘルプサイトへのリンク

*「問い合わせフォーム」からお問い合わせ

考えられる不具合については、詳細を決定してから運用資料に盛り込み担当者に知らせること

4. 構築概要
1) クラウド管理者ツール
●企業登録・修正
<p>企業の新規登録は、運営管理者が行うものとし、企業側の管理アカウントでは修正のみとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業ごとにインスタンスを分けてアカウント生成処理、会員退会後のデータ及びフォルダ削除等サービスを構築するのはユーザーが行うのではなく運用管理者が行うので内部用マニュアルを成果物として作成すること。 ・企業ごとに、シリアルコード（インスタンスに使用）及び QR コードを発行し、（QR コードは新規ユーザーがアプリケーションをインストールする際に使用）登録企業にメールまたは PDF/紙ベースの案内資料を出力する。端末ごとに対応すること
●利用状況の監視
<p>企業ごとにインスタンスを分けるため、使用容量・ユーザー数・ディスク使用率・メモリー使用率の一覧を表示。閾値を設定しオーバーしたところで管理者にメールを送信する。システム利用企業にはメールなどお知らせや、利用制限でのエラーメッセージなどで対応</p> <p>100社を目安として1社あたりの容量数を明記のこと。登録作業についてはマニュアルを作成すること</p>
●タスク管理の監視
<p>バックアップはデフォルトでとること。そのバックアップが容量不足で確保できない、というようなタスクのエラー機能によってはタスク処理を行う機能が発生するため、タスクの開始・終了・エラー等を監視し、エラーが発生したら管理者にメールを送信する</p> <p>想定されるエラーメッセージなどもマニュアルで対応できるようにする</p>
●メール配信機能
2) 企業別管理ツール（販売活動支援）
●管理者認証機能
<ul style="list-style-type: none"> ・管理者専用のログイン画面 ・パスワード変更機能、パスワード忘れ対応機能 <p>ログインが成功したら場合、自身の企業の管理メニューが表示される。</p> <p>1日に3回失敗したらロックをかける</p>
●企業情報の変更
<p>企業名、使用停止、使用アプリケーションの選択、使用する機能の選択など （カスタマイズ等発生した場合オプション追加等を可能にする）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスクの空き容量、メモリの空き容量の変更申請を行う
●ユーザー管理
<p>企業内のアプリケーションを使用するユーザーの登録、仮パスワード発行。</p> <p>ユーザーへの本登録を即すメール送信。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーの利用停止
●マスタ登録
<ul style="list-style-type: none"> ・テンプレート登録 ・商品登録（商品コード 15 ケタ、商品名、商品説明、カラー、カテゴリ、素材説明、シーズン、性別、対象年齢、関連商品コード、jamcode 部位など）約 15 項目程度登録できるようにする

<p>画像登録（商品画像、色見本画像、素材画像、コーディネート画像）</p> <p>画像登録含め、ユーザーがシステムを使用する際に参照できるユーザー左記画像登録含め、ユーザーがシステムを使用する際に参照できるユーザー用マニュアルを作成する（前述の内部用マニュアルとは別）</p>
<p>●メール配信</p> <p>ユーザーへのお知らせ一斉メール配信、履歴（既存機能）</p>
<p>（1）企業別管理ツール（企画書作成支援）</p>
<p>●管理者認証機能</p>
<p>・管理者専用のログイン画面</p>
<p>・パスワード変更機能、パスワード忘れ対応機能</p>
<p>ログイン成功したら場合、自身の企業の管理メニューが表示される。</p>
<p>1日に3回失敗したらロックをかける</p>
<p>●企業情報の変更</p>
<p>・企業名、使用停止、使用アプリケーションの選択、使用する機能の選択（現状は未定、カスタマイズ等発生した場合オプション追加等を可能にする）</p>
<p>・ディスクの空き容量、メモリの空き容量の変更申請を行う</p>
<p>●ユーザー管理</p>
<p>企業内のアプリケーションを使用するユーザーの登録、仮パスワード発行。</p>
<p>ユーザーへの本登録を即すメール送信。</p>
<p>・ユーザーの利用停止</p>
<p>●マスタ登録</p>
<p>・テンプレート登録</p>
<p>・商品登録 （商品コード、商品名、商品説明、カラー、カテゴリ、素材説明、シーズン、性別、対象年齢、関連商品コード、部位など）</p>
<p>・画像登録（商品画像、色見本画像、素材画像、コーディネート画像）</p>
<p>最初はなし、運用でサポート</p>
<p>●メール配信</p> <p>ユーザーへのお知らせ一斉メール配信、履歴（既存機能）</p>
<p>3）販売活動支援アプリ</p>
<p>●画面構成作成</p> <p>ベース作成（アイテム配置、全画面表示、メニューバー機能など）</p>
<p>●商品検索機能</p> <p>・カテゴリ、シーズン、性別、年代、カラー、素材などにより商品を絞り込み選択したものをデスクトップに表示する</p>
<p>●壁紙変更機能</p> <p>選択可能な壁紙を変更できる（当初は10パターン程度用意し、要望に合わせて芋やしていく、30パターン程度）</p>
<p>●着せ替え機能</p> <p>・選択した洋服をマネキンの画像に重ねる。洋服の重ね着は商品に登録されたレイヤーの順番とする。</p>

<p>各方向 8 枚のデータがあるものは回転できるものとする。</p> <p>「1 着につき 8 枚」角度にして45度ずつ</p> <p>別途パワーポイント資料を添付するので参考にすること</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・独自に撮影されたデータを使う場合には回転はできない。マネキンは 2 次元データとしびったりはあわない。 ・作成した着せ替えデータを保存して、一枚の画像（PDF）としてアップロードする。（メール、クラウドディスク等
<p>●オーダー機能</p>
<p>注文数の入力、販売条件の表示、在庫引き当て（最初はなし）</p> <p>分納取引やボリュームディスカウント等、額面通りでない取引。</p> <p>オーダー時に取引交渉の結果を反映させる機能の搭載などヒアリングで対応可能であれば、盛り込む。</p> <p>今回は汎用とするが、企業により個別対応の要素が強い場合、オプション扱いとして対応できること</p>
<p>オーダーデータ作成</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・顧客へ注文確認メール配信
<p>●サポート機能</p>
<p>お問い合わせ画面にてメール送信</p> <p>本年度の対応として（平成 28 年 2 月まで） ・サーバー管理・保守 ・システム保守・管理</p> <p>ユーザー対応のヘルプデスク（ヘルプデスクの設置等は別途保守契約に含めることとする）</p> <p>上記の内容と金額を明記すること</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な操作マニュアル ・よくある質問の Q&A
<p>5) 企画書作成支援アプリ</p>
<p>●画面構成作成</p>
<p>ベース作成（アイテム配置、全画面表示、メニューバーなど）</p>
<p>●商品検索機能</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・カテゴリ、シーズン、性別、年代、カラー、素材などにより商品を絞り込み <p>画像を選択する機能</p>
<p>●テンプレート選択機能</p>
<p>選択可能なテンプレート選択しページを作成する</p>
<p>●企画書作成機能</p>
<p>企画書情報の入力（コンセプト、ターゲット、商品説明、素材説明など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画像のサイズ変更 ・企画書の保存 プレビュー画面の保存・参照
<p>●カタログ</p>
<p>カタログの一覧表示</p>
<p>●PDF 作成機能</p>
<p>PDF ファイルへの出力及びメールまたはクラウドへのアップロード</p> <p>また、過去に作成してクラウドに保存した PDF から目的のファイルを取り出すことができること</p>

●オーダー機能
注文数の入力、販売条件の表示、在庫引き当て（最初はなし）今後は在庫管理システムを、会員が運用している既存の在庫管理システムと紐づいて、同期がどれるように仕組みづくりをしておく。 基本は汎用であり、各社毎の決済等に関する既存システムとの連動はオプション扱いで対応すること
●オーダーデータ作成
・顧客へ注文確認メール配信
●サポート機能
お問い合わせ画面にてメール送信
・簡単な操作マニュアル
・よくある質問の Q&A
6) 在庫管理システム
●要件定義
販売促進ツール作成にあたり、在庫管理を行うことが、営業受注のチャンスを逃さないという観点からできるだけリアルに在庫管理ができる基本設計と今後各社のニーズに応じてカスタマイズできる基本設計を行うこと。 内容として、各社の在庫管理の要素（項目、型、サイズ、情報）などを標準化し、データを格納できるサーバーに置く。ユーザーはそのデータベースに最新情報を入れることによってアクセスされたデータは随時変更させる仕組みとする
●基本設計
要件定義をもとに、システムの基本設計を行います。基本設計では機能の一覧及び画面設計、帳票設計等を行う事。 システムの具体的なイメージを提案する事
●詳細設計
前フェーズで作成した基本設計書をもとに、システムの内部設計を行う
●開発
作成した各設計書をもとに、経過の報告・レビューなどを行う。 開発中に要望や仕様の追加が発生した場合は、出来る限り要望に応えられるよう、機能追加を想定し、汎用性のある開発にする。
●テスト
正しく機能するかを確認するテストに始まり、システム処理性能に関するテスト、運用や使い易さに関するテストなど、様々な観点でテストする事。
●汎用機能
・クラウド対応として、PC以外の機器での検証を行う
●システム導入
システムを運用するのに必要な様々な情報（従業員の情報、商品の情報・・・）を登録するなど、システムを運用するための準備を行う事。
●登録サポート
説明会を開催し運用トラブルが無いよう、マニュアル作成する (開催候補地：東京・大阪・名古屋)

5. 運用サポート及び管理費
1) アプリケーション管理・保守 内容と料金を提示すること
2) クラウドサーバー保守管理 内容と料金を提示すること
3) ドメイン管理・更新
4) コールセンター・トラブル対応 導入当初（平成 28 年 2 月末まで）については委託で対応して頂くこととなります。期間内に問い合わせの多かった質問を FAQ としてまとめて成果物として提出すること 内容と金額を明記すること。 (一定期間経過後は全婦連にて対応する事を想定するが、上記保守と同様提案内容によっては選定の条件とする。)
6. 運用スケジュール
11 月下旬 一般競争入札（入札期間：2 週間）
12 月中旬 開発業者決定 開発の為の詳細項目策定
平成 28 年 1 月初旬～ 試験運用開始
7. 納品物
(1) アプリケーションのWEBサーバー設計及び設計手順書 (2) モジュール一式 (3) 検証報告書 (4) 全婦連担当者用操作マニュアル（システム納品と併せて全婦連担当者への直接指導等の運用支援を行う事） (5) システム利用者用操作マニュアル (6) FAQ (7) その他システム運用に係り必要されるもの